

地域の皆様に小規模多機能型居宅介護
アップルを紹介する小規模地域交流誌



平成24年3月2日発行
医療法人北寿会
グループ
介護老人保健施設
通所リハビリ
パワーリハビリ
居宅介護支援事業者
クリニック
訪問介護
福祉用具貸与・販売
小規模多機能型居宅介護

小規模アップルだより

みんなが一つになって、 和気あいあいと「おやつ作り」

二月三日、管理栄養士の指導のもと、お好み焼きをご利用者と一緒に手作りしておいしくいただきました。
女性のご利用者が多くいらつしやるので、楽しくお話をしながら作り始めました。野菜と小麦粉を混ぜネタを作り、プレートで焼いていきます。

自然に明るい声が・・・



プレートを使ってお好み焼き作り

「まだ焼けていないよ」「早くひっくり返さないと焦げるよ」と言いながら作っていると、お好み焼きの匂いが漂い、嬉しそうに「もう一枚ちょうだい」と言われる方もおられ、大好評でした。

和やかな雰囲気の中で・・・

ご利用者の中には、ご自分で料理さされる方もいらつしやるのですが、ほとんどの方が久しぶりに作られたので、和やかな雰囲気の中で楽しくおやつ作りができました。
「また次は何を作るのか」と期待して待つていた「利用者もおられ、私たちが喜んでいただけるといいな」と思っています。

(植野)

施設行事紹介(一月)

「初詣」

一月二日、天候は雨。その日はご利用者と一緒、車で近くの神社へ初詣を予定していました。当施設ではここ数年、お正月には「初詣ドライブ」と称した外出レクリエーションを行っています。ところが、今年はいくの雨となり決行が危ぶまれました。

がっかりさせないために

朝の時点では中止も考えましたが、外出することを楽しみにしてご利用者をがっかりさせるのはどうかと考え、「雨でお参りができず、ドライブだけになっても」「降りなくても神社の前で止めて車の中から手を合わせるだけでも」と職員で話し合っ、決行することにしました。

神社へ向かう車中では、まるで子どもたちが遠足に行く時のように、ご利用者の明るく楽しそうな話し声が聞こえてきます。そして三〇分程ドライブして、神社へ到着。

参拝のあと、笑顔で記念撮影

そのころ幸いにして雨はあがり、皆で車から降りて無事参拝を済ませることができました。帰りには境内でおみくじを買って、今年一年の運勢を占うご利用者も。そして最後に、職員も入りみんな並んで記念撮影。「パチッ」。その瞬間皆さんとてもいい顔をされていました。

どうか、今年一年皆さんにとって健康で、楽しいよい一年になりますように。

(片江)



シリーズ

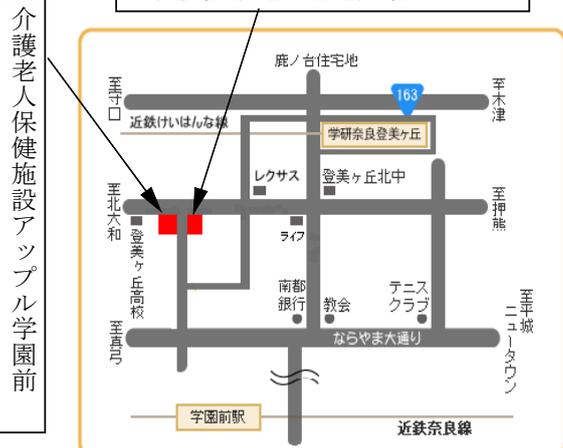
訪問日記

いつも朝早く伺う訪問先があります。玄関を上がって「〇〇さんおはようございます」と声をかけると「おはよう」と元氣よくお応えしていただけます。まず朝食を召し上がっていただきます。

そしてお手洗いの介助もさせていただきます。自分で立ち上がるようにいつも努力されているので、介助させていただく私たちも少しも歩いていただながら介助させていただきます。帰る時間になると「さみしいわ」と言ってくださるのも嬉しく励みになります。



小規模多機能型居宅介護アップル



介護老人保健施設アップル学園前

そもそも
小規模多機能型施設とは

「施設の安心を自宅でも可能に」

介護が必要になっても、自宅の近くに、安心して「通う」場所があり、必要に応じて「宿泊」ができ、緊急時や夜間でも訪問してくれるといった、「二四時間・三六五日の安心」があれば、介護のため自宅を離れるのではなく、これまでどおり住み慣れた場所で暮らし続けることができるのではないだろうか。

そんな高齢者の願いから生まれたのが、平成十八年四月の介護保険制度改正で新設された地域密着型サービスの一つである「小規模多機能型居宅介護」です。

地域密着

小規模

多機能



その人らしい「生き方」「暮らし方」の実現

小規模多機能型
居宅介護施設の特徴

① 本人本位の支援

小規模多機能型居宅介護の主体は利用者であり、利用者のニーズに基づいて柔軟性と応用力のあるサービスを提供するところに最大の特徴があります。高齢者の気持ちに引き合い、寄り添いながら支援することを大切にし、本人の思いや希望を受け止め、それを叶える方法を考えます。

② 継続的支援

二四時間三六五日、切れ目ない支援で利用者の暮らしを支えます。「お世話する」のではなく「生きることを支援する」という姿勢で、本人ができること、できる可能性があることに着目して、本人の本来の能力を生かし、馴染みの職員による継続的な生活の支援を行います。

③ 地域で暮らし続ける
ことの支援

介護が必要な状態になっても、本人がこれまで培ってきた家族や地域社会との関係の継続を大切に、住み慣れた風景、行き交う人たちのふれあい、軒先や縁側に訪ねてくれる知人などと共に暮らせること、それが小規模多機能型居宅介護の醍醐味です。



④ 地域との支えあい

事業所も地域住民の一人。地域に溶け込み、地元活動への参加や多様な地域資源の活用、積み上げてきた認知症ケアの実践経験の還元など、地域と支え、支えられる関係が地域密着型サービスの鍵になります。地域との支えあいが利用者のより豊かで当たり前の暮らしを具現化します。

居宅サービスの利用を
検討される場合は…

まず、訪問、通所、ショートステイを別々の事業所に依頼する形態を望むのか、それとも「通い」（デイサービス）を中心にご本人の形態や希望に応じて、「泊まり」（ショートステイ）、「訪問」といった三つのサービスを一つの事業所が提供する小規模多機能型居宅介護を選択するのか、ご検討されることをお勧めします。

ご検討の際は、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のみならず、小規模多機能のケアマネにも見学を兼ねてぜひご相談ください。きつと選択肢の幅が広がります。

※小規模多機能型居宅介護のケアプランを立案するのは、地域包括支援センターの担当者や居宅介護支援事業所のケアマネジャーではなく、小規模多機能型居宅介護に所属するケアマネとなります。いつもご利用者と接する施設のケアマネが親身になってケアプランを作成します。

【問い合わせ先】

どのような利用ができるか、利用料金など、気軽にどうぞ。
小規模アップル
0742・52・9191
(小杉)

【職員募集】

- 通所介護スタッフ（正職員）
資格：介護福祉士
月給：17万5千円
 - 医療事務スタッフ（正職員）
医療事務経験3年以上
エクセル・ワード必須
月給：15万4千円
 - 訪問登録ヘルパー（パート）
資格：ヘルパー2級以上
時給：850円
- 連絡先：アップル学園前 0742・51・2200

【ボランティア募集】

- ①お話し相手、見守り活動
 - ②お茶・食事の配膳、下膳など
 - ③ご利用者と将棋など
- ※まずはご一報ください。
(事務部担当：平岡)

編・集・後・記

小規模多機能型居宅介護アップルでは、この地域情報誌を定期発行することになりました。

三月、七月、十月の年三回を予定しています。

表面は現場に原稿を依頼し、リアルタイムに施設の様子を紹介、裏面は小規模多機能型施設の特徴と法人からの情報などを記載させていただきます。

地域の皆様が小規模多機能型施設について知っていただき、機会が合えばご利用いただければと思います。
(平岡)